

エコアクション21

環境活動レポート2016

(対象期間2015年9月～2016年8月)

2016年9月30日作成



伸光写真サービス株式会社

認証・登録番号0000538

目 次

1.	会社概要	2
2.	対象範囲（認証・登録範囲）	3
3.	環境方針	4
4.	環境目標（中長期目標）	5
5.	環境活動計画（38期 2015年）	6
6.	環境目標の実績値・取組結果とその評価（38期 2015年・）	8
7.	環境活動計画（次年度 39期の取組内容）	10
8.	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	11
9.	代表者による全体評価と見直し	11



当社は電子業界の最先端技術を積極的に取入れ、人類。社会の進歩発展に貢献し全従業員の幸福を追求します。
当社は様々な分野のプリント配線板の試作品を製作しています。
私たちの製作しているプリント配線板は世界の人々を結びつけ、宇宙開発にも貢献しています。

人間活動と環境との持続可能な関係を修復・再生できますように！

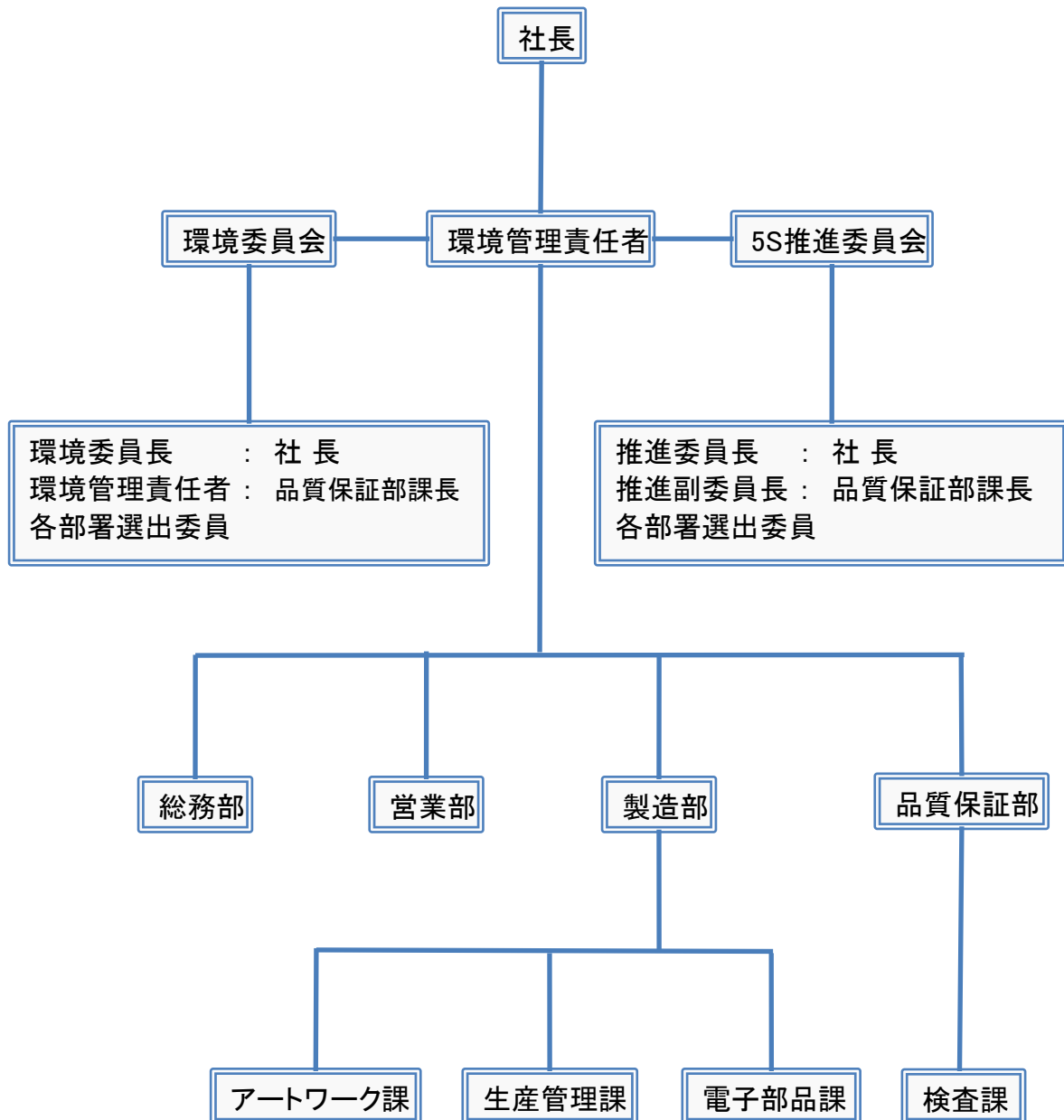
1. 会社概要

所在地	〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4363番地18
設 立	昭和 52 年 7 月 1 日
代表者	代表取締役 今井 俊夫
資本金	払込済 資本金 3,450万円
環境管理責任者	中島 光洋
連絡先	〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4363番地18 TEL : 045(933)8311 FAX : 045(933)8318
事業内容	プリント配線板・メタルエッチング及び 工業用精密マスクの製造
事業の規模	主要製品の生産量 / 出荷額 2.2t / 372百万円 従業員総数 30名 床 面 積 660m ²

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

全社(本社)

※環境管理組織を含みます



3. 環境方針

伸光写真サービス株式会社は住宅地域に密着した企業として、身近な周辺環境保全と資源の節減・回収・リサイクル問題に積極的に取り組み、環境に配慮した事業活動を推進し“かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐ”事を目指し次の環境活動を展開します。

- ① 事業活動より発生する各種廃棄物、化学物質の管理を徹底し法令を遵守すると共に、化学物質及び各種廃棄物の削減・回収・リサイクルに努めます。
- ② 水質汚染・大気汚染の予防及び騒音問題についても法令を遵守すると共に、地域周辺への配慮を優先した事業活動を行います。
- ③ 消費電力・ガソリン・コピー用紙・上水道等の使用量削減を中心とした省エネルギー・省資源活動を行い、CO2の削減に努めるとともにグリーン調達を推進します。
- ④ 配慮に配慮した製品・サービス・生産活動及び製品品質の向上を通し、顧客や社会に貢献します。
- ⑤ 周辺住民との積極的な対話を持ち、環境保全についての地域行事に進んで参加します。

以上のことを実施するため、環境に関する目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進する。
この環境方針は、全社員に周知させると共に、外部の利害関係者が入手可能にする。

制定日2005年06月20日
改定日2016年06月08日
伸光写真サービス株式会社
代表取締役 今井俊夫

4. 環境目標(中長期目標)

最終年度(今期) 次期長期目標

環境目的	環境目標	2012年度 目標と実績 基準	2013年度 目標と実績	2014年度 目標と実績	2015年度 目標(38期)	2016~2018年 (39~41期) 目標
省エネルギー (二酸化炭素 排出量の削減)	電力使用量 (Kw)	150,516 実績144,992 (-4%)	143,542 (2012年比 -1%) 実績131,223 (-9.4%)	142,106 (2012年比 -2%) 実績133,989 (-7.5%)	140,664 (2012年比 -3%) 実績118,683 (-18.1%)	38期基準で 1%ずつ削減
	ガソリン使用量 (L)	3,816 (監視データ) 実績 3,924(+3%)	3,384 (監視データ) 実績3,328 (-15.2%)	3,240 (監視データ) 実績3,041 (-22.5%)	3,240 (監視データ) 実績2,893 (-26.3%)	38期基準で 1%ずつ削減
	二酸化炭素排出量 (Kg)	77,025 実績77,025 (-0%)	74,714 (2012年比 -3%) 実績69,134 (-10.2%)	73,173 (2012年比 -5%) 実績69,776 (-9.4%)	71,633 (2012年比 -7%) 実績62,264 (-19.2%)	38期基準で 1%ずつ削減
資源のリサイクル(3Rの推進、廃棄物等の削減)	一般廃棄物 (Kg)	576 実績516 (-10%)	516 (監視データ) 実績445 (-13.8%)	516 (監視データ) 実績348 (-32.6%)	516 (監視データ) 実績291 (-43.6%)	38期実績を維持
	産業廃棄物 (Kg)	33,600 実績32,916 (-2%)	32,586 (2012年比 -1%) 実績31,795 (-3.4%)	32,260 (2012年比 -2%) 実績24,353 (-26.0%)	31,932 (2012年比 -3%) 実績29,061 (-11.7%)	38期基準で 1%ずつ削減
省資源の推進	上水道使用量 (m ³)	1,320 実績1,371 (+4%)	1,356 (2012年比 -1%) 実績1,485 (+8.3%)	1,343 (2012年比 -2%) 実績1,320 (-3.7%)	1,332 (2012年比 -3%) 実績1,286 (-6.2%)	38期基準で 1%ずつ削減
	コピー用紙使用量 (枚)	69,672 (監視データ) 実績59,500 (-15%)	59,500 (監視データ) 実績52,000 (-12.6%)	59,500 (監視データ) 実績56,000 (-5.9%)	59,500 (監視データ) 実績50,500 (-15.1%)	38期基準で 1%ずつ削減
環境汚染の防止	グリーン購入の推進 (数)	2品目購入 実績(達成)	4品目購入 実績(達成)	6品目購入 実績(達成)	8品目購入	5品目ずつ追加
	化学物質の使用量・ 排出量の削減 (%)	目標仮設定 現状把握: 廃 酸0.10kg、廃 アルカリ 0.11kg使用	廃酸・廃アル カリを2012年 比 -1% 実績(+0.7%)	廃酸・廃アル カリを2012年 比-2% 実績(+2.6%)	廃酸・廃アル カリを2012年 比-2% 実績(+5.4%)	フィルム使用 率 73% (38期実績値 を維持)
生産活動での環境負荷の低減	不良損失金額率/対 売上げ比 (%) ※1.57%/2011年	* 2011年比 -10% 実績(-10%)	2011年比 -15% 実績(+64%)	2011年比 -20% 実績(+21.7%)	2011年比 -20% 実績(+29.3%)	1.74%(39期)ス タートで 3%ずつ削減
地域社会との協調・連携	環境ボランティア 活動の実施(回)	年1回実施 実績(達成)	年1回実施 実績(達成)	年1回実施	年1回実施	年1回実施

※2012年度を基準としての3カ年計画(ただし*は2011年比) 赤字が未達

環境目的 (39期新設)	環境目標	2012年度 目標と実績 基準	2013年度 目標と実績	2014年度 目標と実績	2015年度 目標(38期)	2016~2019年 (39~41期) 目標
生産活動での 環境負荷低減	不具合情報等伝達/ 受信/対策実施(回)	-	-	-	-	各部門5件

5. 環境活動計画(38期 2015年)

環境目標	次年度の取組内容
電力使用量の削減 (Kw)	電力監視システムのデータにより電力のピークデマンドを抑える (省エネ法改正事項…努力義務) 電力監視システムのデータからポイント押さえて取り組む
ガソリン使用量の 削減(L)	毎月のガソリン使用量の把握 エコドライブ等継続実施 ・発進時、急加速しないようにする。 ・月に1回タイヤの空気圧をチェックし記録する 引き続き監視データとする
二酸化炭素排出量 の削減(Kg)	大きな影響を及ぼす、電気とガソリンに注力して削減する
一般廃棄物の削減 (Kg)	外注業者から入る合紙やビニールで不要なものは断る・返却する ごみの分別を再認識する(分別表作成) 古紙はリサイクル業者に移管する ビニール袋の分別、再利用 監視データへ移行
産業廃棄物の削減 (Kg)	フィルム描画率アップによる定着液、フィルムの削減、 金属類の分別回収リサイクル
上水道使用量の削減 (m ³)	引き続き以下の項目を実施 生産時に使用する水道水の量を個別の水道メータで管理 使用量の把握を一ヶ月毎に監視
コピー用紙使用量 の削減(枚)	マルチファンクションプリンタの導入によるスキャナーの有効活用 (社内データのソフト化の推進) イントラネットの有効利用を促進 裏紙の再利用、両面・縮小コピーの継続実施 引き続き監視データとする
グリーン購入の推 進	設備に注力し、環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入
化学物質 排出量の削減 (%)	描画フィルム利用率を低減し、廃酸・廃アルカリの排出量を定量的に 把握し削減する
不良損失金額率の 低減 (%)	引き続きヒューマンエラー対策を実施していく ・ISO9001: 2015 を適用し仕事のやり方の品質を向上させる ・外部供給者評価基準を明確にし評価するとともにポカミスの 少ない業者を選定
環境ボランティア 活動の実施(回)	環境ボランティア活動(鶴見川清掃)の継続実施 地域行事に協賛企業として参加

2015年10月 鶴見川清掃のときの写真です



6. 環境目標の実績値・取組結果とその評価(38期 2015年)

購入電力の排出係数: 0.463 (kg-CO2/kwh)

環境目的	環境目標	38期 目標	38期 実績値	取組結果	評価
省エネルギー (二酸化炭素 排出量の削減)	電力使用量の削減 (Kw)	140,664	118,683	-15.6%	○
	ガソリン使用量の 削減(L)	3,240 (監視データ)	2893 (監視データ)	-11%	○
	二酸化炭素排出量 の削減(Kg)	71,633	62,264	-13.1%	○
資源のリサイ クル(3Rの 推進、廃棄 物等の削減)	一般廃棄物の削減 (Kg)	516	291	-43.6%	○
	産業廃棄物の削減 (Kg)	31,932	29,061	-9.0%	○
省資源の 推進	上水道使用量の削 減(m ³)	1,332	1,286	-3.0%	○
	コピー用紙使用量 の削減(枚)	59,496 (監視データ)	50,500	-15.1%	○
環境汚染の 防止	グリーン購入の推 進	8品目購入	8品目購入	目標数を 購入済み	○
	化学物質 排出量の削減 (%)	廃酸・廃アルカリを 2012年 比-2% ---換算データ--- 描画フィルム 利用率78% (2012年比-2%)	実績(72.6%) ---換算データ--- 描画フィルム 利用率78% (2012年比-5.4%)	-5.4%	△注1
生産活動で の環境負荷 の低減	不良損失金額率の 低減 (%)	2011年比-20% (1.27%)	2011年比+29.3% (2.03%)	+60.0%	×注2
地域社会と の協調・連	環境ボランティア 活動の実施(回)	年1回実施	年1回実施	実施	○

注1) 描画フィルム利用率で換算しています。ほぼ管理限界に近づきつつあります。

注2) 外注のポカミス及び技術的に難しい基板製造への挑戦が増えたため未達となりました。

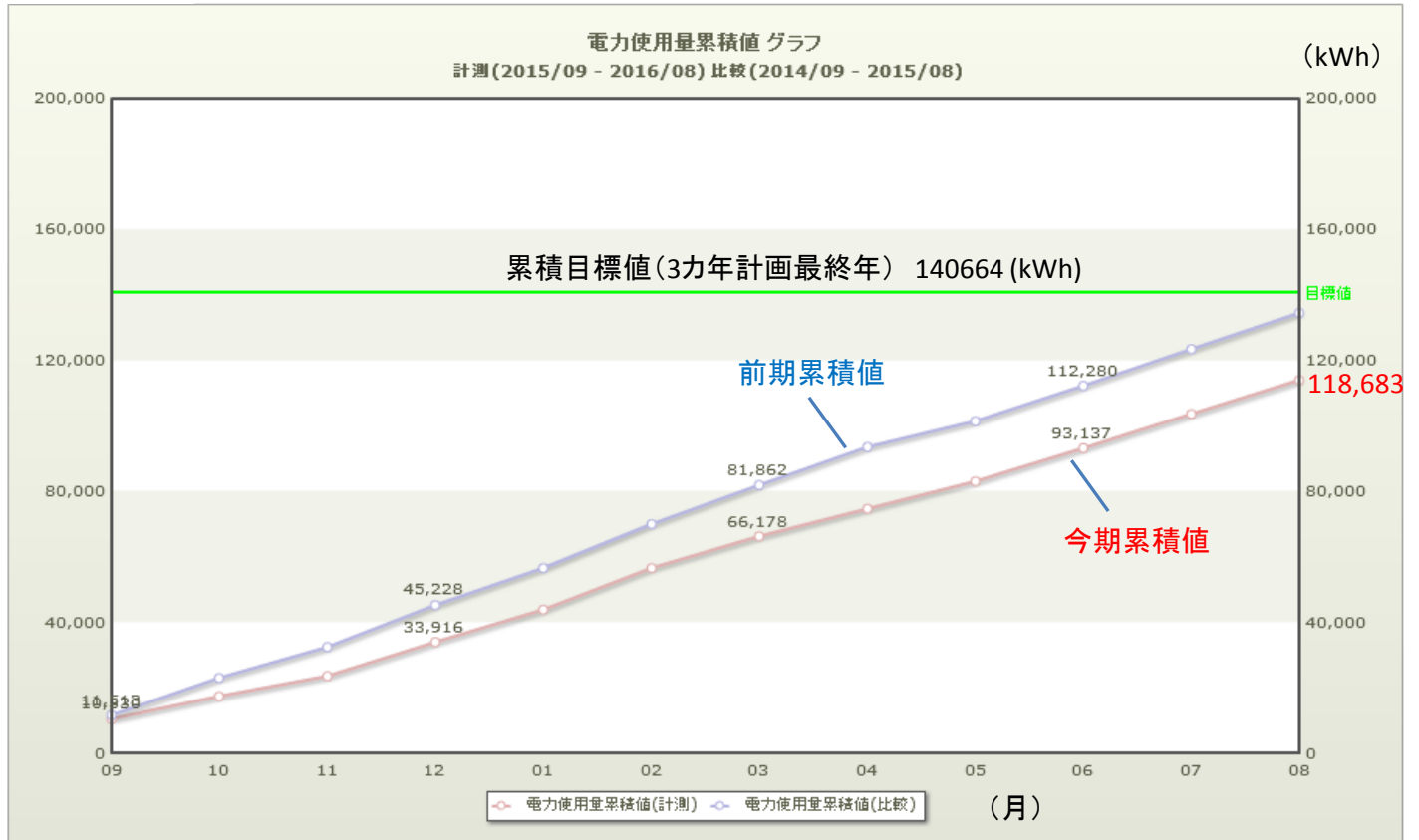
下の図は、日本テクノ株式会社様と契約している電力監視システムのグラフです。

年間グラフ

年間の目標設定値
140664 kWh

伸光写真サービス 株式会社

計量日: 25日
2015年09月 ~ 2016年08月



7. 環境活動計画(39期 次期取組内容)

環境目標	次期取組内容
電力使用量の削減 (Kw)	今期より監視データとする 電力監視システムのデータにより電力のピークデマンドを抑える (省エネ法改正事項…努力義務) 電力監視システムのデータからポイント押さえて取り組む
ガソリン使用量の削減(L)	引き続き監視データとする 毎月のガソリン使用量の把握 エコドライブ等継続実施 ・発進時、急加速しないようにする。 ・月に1回タイヤの空気圧をチェックする
二酸化炭素排出量の削減(Kg)	今期より監視データとする 大きな影響を及ぼす、電気とガソリンに注力して削減する
一般廃棄物の削減(Kg)	引き続き監視データとする 外注業者から入る合紙やビニールで不要なものは断る・返却する ごみの分別を再認識する(分別表作成) 古紙はリサイクル業者に移管 ビニール袋の分別、再利用
産業廃棄物の削減(Kg)	今期より監視データとする フィルム描画率アップによる定着液、フィルムの削減、 金属類の分別回収リサイクル
上水道使用量の削減(m ³)	今期より監視データとする 引き続き以下の項目を実施 生産時に使用する水道水の量を個別の水道メータで管理 使用量の把握を一ヶ月毎に監視
コピー用紙使用量の削減(枚)	引き続き監視データとする マルチファンクションプリンタの導入によるスキャナーの有効活用 (社内データのソフト化の推進) イントラネットの有効利用を促進 裏紙の再利用、両面・縮小コピーの継続実施
グリーン購入の推進	設備に注力し、環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入する
化学物質排出量の削減(%)	今期より監視データとする 描画フィルム利用率を低減し、廃酸・廃アルカリの排出量を定量的に把握し削減する
不良損失金額率の低減(%)	今期より監視データとする 引き続きヒューマンエラー対策を実施していく ・ISO9001: 2015 を適用し仕事のやり方の品質向上を図る ・外部供給者評価基準を明確にし評価するとともにボカミスの少ない業者を選定する
不具合情報等伝達/受信/対策実施(回)(コミュニケーション)	仕事の業績又は結果を著しく向上させる活動としてコミュニケーションが挙げられる 現在までピンポイントでの対策を行ってきたが、今期はコミュニケーションを意識することにより会社全体の品質向上も図る
環境ボランティア活動の実施	環境ボランティア活動(鶴見川清掃)の継続的に実施し、さらに今期は会社周辺の清掃も加えていく 地域行事に協賛企業として参加する

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認、違反等の有無

環境関連法規への遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

主な適用法規制	内 容	遵守状況
下水道法	公共下水道排水の定期分析異常なし(横浜市の監査あり)	○
騒音規制法	地域住民からの苦情なし	○
土壌汚染対策法 水質汚濁防止法	特定有害物質有り(対策の実施、申請済み)	○
悪臭防止法	対象物質なし	○
廃棄物処理法	指定回収業者定期点検 マニフェストの管理	○
フロン排出抑制法	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化(点検済み)	○
PCB特措法	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進	○
横浜市及び 神奈川県 条例	A除外施設問題なし。資格者保有	○
製品含有化学物質 管理	RoHS/改RoHS2/J-Moss、REACH(含高懸念物質)、 コンゴ民主共和国等産出の紛争鉱物	○

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

今期は3カ年計画の最終年ですが「CO2削減量」の目標値を達成することができました。紙・ゴミ・電気などの基本項目は既に定常状態となっているため、今後は会社全体の品質改善に注力して資源の有効利用を促進していきます。この一環として、仕事の業績又は結果の向上に著しく影響を及ぼす「コミュニケーションの活性化」を社長方針に掲げています。コミュニケーションの活性化により、職場の人間関係が良くなりまた情報も共有化されるため、不具合低減にもなり生産性の向上に繋がります。

さらなる継続的改善として次の取り組みを行います。

- ・社内外のリスクマネジメントを通し、影響の程度、頻度、潜在性を分析し事業継続プランを作成し運用します。
- ・歩留向上及び不良損失金額率低減のために、「ISO9001: 2015 7.4 コミュニケーション」及び社長方針「コミュニケーションの活性化」により、資源の有効利用を促進します。
- ・酸・アルカリ廃液等の移送に関し、立会い及び教育訓練を継続して実施します。
- ・RoHS II、REACH等、製品含有化学物質管理を強化していきます。

引き続き、地域社会との協調として「鶴見川清掃活動」を実施します。

今期はさらに会社周辺の清掃も加えることにしました。また地域行事に協賛企業として参加します。

2016年9月30日
代表取締役 今井 俊夫



人間活動と環境との持続可能な関係を修復・再生できますように！

・・・そう願いながら伸光写真サービスは今日も環境活動を続けています。